

《 Tさんの感想 》

実家(静岡)の父親が不慮の事故で緊急搬送されたことを契機に、介護問題に興味を湧いた為、話を伺いました。

聞きなれない言葉に圧倒されましたが、行政の介護に関するサポート体制は想像以上に充実していることがわかり、退職せずに仕事と介護を両立する選択が可能であることが確認でき安心しました。

いつでもお気軽に
ご相談ください
お待ちしております

困ったときはお互い様

《 Mさんの感想 》

今すぐ介護をするわけではないのですが、将来的に不安があり相談しました。いろいろとアドバイスいただきましたが、特に印象的だったのは「できていること」を認めて感心いただいたことです。

親も高齢となり、何かあった時にどうすればよいのか、何か準備しておくことはあるのか、地域でどこに相談すればよいのかなど不安ばかり相談してしまいました。それでもやさしくヒアリングをしていただき、その中で「できているポイント」を教えてもらえたときは正直、自分では当たり前感じていたことだったのでとても驚きました。それがなぜ良いポイントなのか詳しく説明があり『当たり前と感じていたことにもちゃんと意味があったんだ』『いざ何かあったときにこういう風に繋がっていけばいいんだ』と自分の中でイメージができ、今回相談したからこその発見で大変ありがたかったです。



資格やご経験を有している専属アドバイザーが大学の中にいらっしゃって、いつでも相談できるというのはとても素晴らしい環境だと思います。このような相談窓口があることを多くの職員に知ってほしいですし、私のように今すぐ介護が必要でない方も含めて何か少しでも不安がある方にはぜひ利用してほしいと思いました。

○どんな些細なことでも構いません。まずはお気軽にご連絡をお願いいたします。(渡部栄子)

○第2号をお届けいたします。毎回、慣れない編集作業…苦勞の連続です。ご意見、ご質問などございましたらなんでも、お電話メールでお問合せ下さい。どうぞよろしくお願いいたします。(篠原悦子)

東京女子医科大学・介護サポート(面談室)

●受付時間:月~金曜日 9:00~17:00 直通☎:03-5312-5206 fax:03-5312-5207

〒162-8666 新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 巴女子学生会館 3階

☎03-3353-8112(内線)41361

<http://www.kaigo-support.bm@twmu.as.jp>



▲介護サポートホームページはこちら

介護サポート通信

vol.02

発行:東京女子医科大学・介護サポート(委託:NPO法人子育てネットワーク・ピッコロ)
〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 巴女子学生会館 3階介護サポート
☎03-5312-5206 fax 03-5312-5207

9月1日 発行

2023

介護サポート提供会員
講習会終了に寄せて



社会福祉法人 福音会
理事長 奈良 高志

講習会修了おめでとうございます。

2日間、皆様の学ぶことへの熱意をひしひしと感じつつ、改めて“伝えることの重要性”について考えさせられました。伝えることとは「一方通行ではなく双方向のベクトルにより意思疎通を図らなければならない」ことを講義の中でも触れましたが、これこそコミュニケーションの本質です。

コミュニケーションは、「互いに意志・感情・思考を伝達しあうこと」です。大切なことは、言葉による意思伝達だけでなく、感情の面においても相互理解が求められるという事です。

そしてその本質とは“信頼関係を築くこと”に他なりません。その際言語による言語的コミュニケーションと併せて、表情や身振りによる非言語的コミュニケーションの重要性についても講義でお伝えしました。



研修の初日に「何のために、誰のために仕事(奉仕)をするのか」と言う問いかけをしましたが、自分なりの答えは見つかったでしょうか。人が人を支援するとき、その対象の方たちの悩み、悲しみ、置かれている環境への理解と共感が求められます。時には偏見とも向き合わなければなりません。支援する側とされる側の距離をなくすこと、人として対等であることを私たちが実践の場において伝えなければならない使命を担います。それが“共に生きる社会”のスタンダードであることを心に留めて下さい。

「高齢者を支える制度」の中で、わが国で「要介護者の看護や介護を理由に退職する人」が毎年10万人に上ることを話しました。貴重な人材の離職を防ぐために用意されている制度の普及、職場内の理解は言うまでもありませんが、東京女子医科大学・介護サポートのように団体・組織の中で離職を防ぐ取り組みが、関係団体の協力のもと成されていることは特筆すべきことです。



要介護高齢者を支える介護保険制度ですべて介護離職をカバーできるものではありません。このような取り組みが、それを支える提供会員の輪を広げ、その他の会社、団体・組織、地域に拡がることを願ってやみません。

皆様の今後の活躍をお祈り申し上げます。

第3回提供会員講習会開催報告

令和5年7月13日(木)・21日(金)東京女子医科大学 総合研究棟 302 会議室をお借りして開講されました。

講師に社会福祉法人 福音会 理事長の奈良高志先生をお呼びし

1日目: 午前「福祉の制度とサービス」について

2日目: 午前「利用者の理解」について

講習会では資料配布及びスクリーン投影にてご教示を頂きました。(1ページ参照)

また、傾聴の部分では、ロールプレイも取り入れ実践形式で学びました。

2日目: 午後「福祉用具への理解」については、車いすの操作方法をはじめ2人ひと組になり手引きによる寄り添い型の介助方法を実技を通し熱心に学んでいました。



受講者の感想として

- ・受講内容が、とても分かりやすく和やかな雰囲気で行われことをこれからの介護サポートに活かしたい。
- ・「ちょっと介護見守り支援」のちょっとした大切さが良く分かった。などの声が聞けました。

(2日間の受講者数は延べ19名)

第3回提供会員講習会を全カリキュラム終了した受講者7名が新たに提供会員となり介護サポートの仲間入りをしました。

尚、第1回6名、第2回2名、第3回7名、合計15名の提供会員数となりました。



“困ったときはお互い様”

介護サポート・援助内容について

- ◎ 食事の準備や後片付け
- ◎ 部屋の清掃や衣類の片づけ
- ◎ 通院時や買い物時の付き添い
- ◎ 病院等への薬の受け取り・受付予約 ほか

※介護保険適用外・身体介護は除く

『ちょっと介護見守り支援』

こんなことを
応援します。

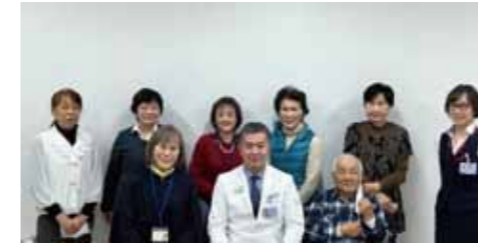


茶話会報告

《第1回茶話会報告》

2022年12月21日(水)東京女子医科大学 総合研究棟102会議室をお借りして10:00 から開催。参加は提供会員4名 事務局2名 介護サポートスタッフ2名 総勢8名でした。

自己紹介を兼ねた近況報告から始まり、新規依頼会員の入会申込の進捗状況報告と



続き、次に、提供会員Iさんからの活動体験談をお聴きしました。その話を踏まえて、アドバイザーからコーディネートや支援時のポイントについて説明がありました。皆さんと和やかな雰囲気でお話して、楽しい時間を過ごすことができました。最後の記念撮影には、東京女子医科大学病院長 板橋道朗先生に飛び入りでご参加いただき笑顔のあふれる記念写真を撮ることができました。



《第2回茶話会報告》

2023年3月28日(火)前回同様 102 会議室をお借りして開催。参加は提供会員2名 事務局2名 介護サポートスタッフ3名 総勢7名でした。

初めに2023年2月9日女性医療人キャリア形成センター主催の第一回介護講演会「脳科学からみた認知症」(演者:脳科学者の恩蔵絢子先生)のDVDを視聴した後、それぞれの体験談や認知症に対する思い、考え方等いろいろなご意見をお伺いする事が出来て、とても有意義な意見交換の場となりました。



イベント情報

提供会員さん向け

ひょうたんライトワークショップ×茶話会のご案内

日時: 2023.9.21(木) 10:00~12:00

会場: 東京女子医科大学 総合研究棟 3階 302 会議室

参加費: 無料

内容: ひょうたんライトワークショップ終了後に茶話会

◎ 作成したオリジナルひょうたんライトはお持ち帰りいただけます

◎ おしゃべりをして、ちょっと気分転換にぜひお越しください



ご興味のある方はいつでもどなたでも(1週間前までの事前予約制)

東京女子医科大学で開催された介護講演会のDVDを、お好きな時に視聴することができます。

お一人でも、お友達と一緒でも大丈夫です。少人数でお申込み下さい。

お電話で介護サポート(面談室)までお問合せ下さい。(月~金 10時~17時 Tel 03-5312-5206)

日時: お好きな日時 (月~金 10:00~12:00、13:30~15:30)

会場: 東京女子医科大学 巴女子学生会館3階(介護サポート面談室)

視聴費: 無料

内容: 第1回介護講演会「脳科学から見た認知症」(演者: 恩蔵絢子先生)(本編40分)

第2回介護講演会「介護のおカネいくらかかるの?」(演者: 井木みな恵氏)(本編40分)

※皆さまのご参加お申し込みをお待ちしております